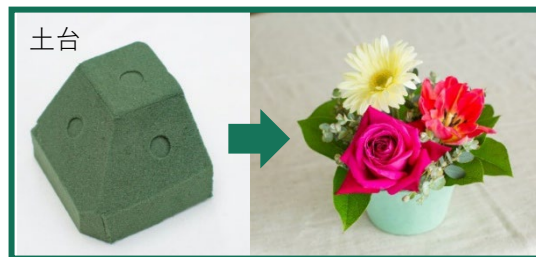


花のある生活がQOLを向上

- 簡単なフラワーアレンジメント手法を開発 -

成果の特徴

- 1) 土台に付けられた○印に切り花を3本挿し込むことで、簡単に、形の整ったフラワーアレンジメントが完成します。
- 2) 花のある生活によって高齢者のQOLが向上することを確認しました。



成果の内容

高齢者施設の居住者を対象に上述の簡単フラワーアレンジメントを実践し、完成した作品を居室に5日間飾っていただいたところ、QOLの向上、抑うつ気分の低下が認められました。

	花あり群		花なし群	
	pre	post	pre	post
QOLスコア	0.13	0.34 *	0.78	0.76
抑うつスコア	13.63	12.88 *	14.50	14.50

*p < 0.05、各群 n = 8

花のある生活によって観察された変化

- ・食事を完食するようになった
- ・施設での活動に積極的に参加するようになった
- ・自らに対してネガティブな発言が減った



ベッドに横になった状態でフラワーアレンジメントが楽しめます。

成果の活用

- ・花のある生活を気軽に楽しむための機会を提供します。
- ・施設での高齢者の生活に変化を与え、食欲増進、活動性の向上を促します。

Mochizuki-Kawai H, et al., Geriatr Gerontol Int., 538-539 (2021)、特許第5201552号